第三世代携帯電話“FOMA D903i”

高田政宏*

Third Generation Mobile Phone “FOMA D903i”

Masahiro Takada

要　旨

国内における携帯電話は，第三世代通信方式のCDMA（Code Division Multiple Access）が主流になっており，CDMAの高速データ通信を利用したサービスの多様化が進み，キャリア各社の競争が激化している。また，2006年10月にはキャリア会社間で電話番号の持ち運びが可能となる番号ポータビリティが始まり，ますますキャリア間競争が激化している。

このような背景の中，㈱NTTドコモから高機能携帯電話端末“903iシリーズ”が2006年10～12月に発売されており，三菱電機では，“FOMA(注1) D903i”を開発し，2006年11月に市場へ投入した。

主な特長は次のとおりである。

(1) 903iシリーズ中，最薄の18.2mmのスライドボディ

(2) GPS（Global Positioning System）機能の搭載

(3) Windows(注2)対応パソコン標準音楽フォーマットであるWMA（Windows Media(注2) Audio）対応ミュージックプレーヤーを搭載

(4) 音楽を楽しむ“NOW PLAYING情報”取得機能付きFMラジオ，FMトランスミッターを搭載

(5) 3G国際ローミング対応

（注1） FOMAは，㈱NTTドコモの登録商標である。

（注2） Windows，Windows Mediaは，米国Microsoft Corp.の登録商標である。

FOMA D903i

FOMA D903iは，903iシリーズ唯一のスライドボディを採用した端末であり，シリーズ最薄を誇る。D902iSで好評であったスピードセレクターを踏襲しつつ，大画面2.8 インチワイド液晶との組合せにより，快適な操作性を実現している。

*モバイルターミナル製作所